

## 令和3年度 第1回香南市産業振興計画策定委員会【議事録】

- 日時 :令和3年5月31日(月) 13:30 ~ 15:30
- 場所 :のいちふれあいセンター2F
- 出席者: 36人(策定委員16人・市職員19人・傍聴者1人)

### 1. 開催目的

- ・ 令和2年度の取り組みの総括及び新型コロナウイルス感染症対策の取り組みと令和3年度の取り組み及び新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて説明し、各分野別部会長をはじめ、有識者や産業関係団体の代表者に出席いただき、分野を超えた横断的な議論を交わす。

### 2. 議題

- ① 令和2年度の総括について  
※ 令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業含む
- ② 令和3年度の取り組みについて  
※ 令和3年度の新型コロナウイルス感染症関係事業含む

### 3. 内容

- ・ 次第に沿って進行
- ・ 令和3年4月27日から令和3年5月12日に開催された各分野別部会の協議内容と令和2年度の取り組みの総括について各部会長より報告。
- ・ 令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業について担当課より説明。
- ・ 令和3年度の取り組み及び新型コロナウイルス感染症関係事業について担当課より説明。
- ・ 上記のことについての意見交換および策定に向けた動きの確認。

### ◆ 開会

#### (事務局)

お時間になりましたので、ただ今から、令和3年度 第1回香南市産業振興計画 策定委員会を開催いたします。本日は何かとご多用のところ、本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の会は、香南市産業振興計画策定委員会設置条例第6条の規定に基づき、委員17人のうち16人の方、過半数の方にご出席いただいておりますので、成立してありますことをご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして、香南市田内副市長よりご挨拶申し上げます。

### ◆ 副市長 挨拶

皆様こんにちは。

本日はコロナ禍ではありますが、第1回産業振興計画策定委員会にお集まりいただきありがとうございます。

本市におきましても、高齢者に向けたコロナワクチンの接種が始まっています。予約時は大変混乱を招きましたが、お陰様で、予防接種はトラブルもなく順調に進んでいます。

さて、本日の議題では、令和2年度の総括と令和3年度の取り組みについてということで、この中には、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みも含まれることとなっています。

一方で、9月にデジタル省ができる話なども出ております。

本日は、首都圏企業の働き方についてお話をいただけたと思いますが、ますます働き方改革と言いますか、大きく進んでいくのかなと感じているところですので、是非、皆様から忌憚のないご意見をいただいて、今後の施策に反映させていただきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

## ◆ 進 行

### (事務局)

ありがとうございました。それでは、議事に入る前に資料のご確認をさせていただきます。

まず、委員の皆様には事前に資料をお配りしておりましたが、お手元にごございますでしょうか。

改めて、資料の方ですが、次第、人簿、右上に資料1から資料6とあるホチキス止めの各書類、参考資料1とあるホチキス止めの書類、メモ用紙になります。

ない方は挙手でお知らせください。

次に資料の説明をさせていただきます。

本日の会は、次第の裏にもスケジュールがありますが、議事は2つを予定しています。

まず、1つ目の議事①では、「令和2年度総括」ということで、資料1、2、参考資料1をご覧いただきながら、各分野の部会長よりご報告をさせていただきます意見交換をいたします。

なお、今回は、各部会で設定されている「数値」の変更などについてご提案をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

次に、資料3をご覧いただきながら、令和2年度に取り組みみました新型コロナウイルス感染症関係の事業について関係課よりご報告をさせていただきます、意見交換を行います。

2つ目の議事②では、資料4、5をご覧いただきながら、「令和3年度に向けた取り組みについて、担当課よりご説明をさせていただきます、意見交換へと移らせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、説明が長くなり申し訳ございませんが、次第の「3. 議事」に移らせていただきます。

ここからの進行につきましては、香南市産業振興計画 策定委員会赤池委員長にお渡しをさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

## ◆ 議 事

### (赤池委員長)

皆様こんにちは。

コロナ禍の中で、大変お忙しい中、皆様には、部会を開催していただき、ご議論をいただきありがとうございました。

本日は「令和2年度の総括」ということで、昨年の取り組み状況についてご報告を各部会からいただき、皆様と意

見交換を行います。

前回の会では、先に各課からの事業説明をいただき、その後、各部会の報告をいただいておりますが、今回は、各部長より、各部会のご説明をいただき、その後、実績について各課よりご報告をいただければと思います。

なお、事務局からの説明もありましたが、本日は、各部会より「数値の変更について」ご提案がございますのでこちらについてもご議論をいただければと思います。

それでは、ここからは、「令和2年度の総括」について、各部長よりご説明をお願いいたします。

なお、お時間に限りがございますので、1部会4分程度でご説明をお願いいたします。

それでは、農業部会よりよろしくお願いいたします。

### (農業部会長)

令和2年度の農業分野は、大きな目標を新規就農者の確保数を10人として各施策に取り組んで参りましたが、

その目標値に対しましては実績が10人ということで目標値に達しているため判定はAとなりました。

例年行われてます移住フェア等のイベントがコロナの影響で相次いで中止になったため参加はできませんでしたが、市への相談件数は28件あり、そのうち就農に向けて話しが進んだ方は14件となりました。

3つの戦略の柱の1つ目の「担い手確保に向けた取り組み」としましては、就農前の研修時点で事業を使った者は、4ページの担い手支援事業の後継者育成区分という親元での研修生が2人いたのみで、その他は0となっています。

就農後の施策としましては、4番の国の農業次世代人材投資事業で目標値4人に対して6人で評価はA、5.農業後継者推進事業は6人に対し1人となりCとなっています。

農業後継者推進事業につきましてはJA等の関係機関から情報を集め、相談を重ねてきましたが、要件が合わなかったり、就農の時期を見合わせたりという方がおり、数値は伸びませんでした。

令和3年度も引き続き関係機関と連携し情報収集を図り、また、新規就農者のサポート体制をJA、振興センターの他にも、指導農業士を新たに加え、栽培、経営面のサポートを強力にしていくということです。

続いて2つめの戦略の柱である「経営改善・農地維持に向けた取り組み」についてですが、産地パワーアップ事業など、施設の整備等に関する事業は、A評価はなくBとCになっています。

特に産地パワーアップ事業につきましては目標30件に対し、実績は12件と大幅に下回っています。

当事業は、令和3年度が第2期計画の最終年度なり、令和4年度からスタートする第3期の新たな計画づくりを検討していますが、前期の売り上げの10%向上という条件があり、コロナ禍における計画策定に課題が生じている現状です。

次に、4.人・農地プランの実質化については、香南市内全ての20地区で実質化を行い、各地区の課題と解決策を策定できたので、判定はAとなりました。

ただし、コロナの影響で、全ての地区で農家を集めて話し合いを行わず、農業委員や推進委員を中心に課題や解決策を提案したところもあり、令和3年度はプランの設定確認や修正が必要な箇所、また、(耕作条件改善事業等)各種事業が関連してくる地区から話し合いの場を設け、将来の展望が描けるように進めて参ります。

次に7ページの9番の有害鳥獣被害対策実施事業は、捕獲数が目標数値を大幅に上回りA評価となりました。今年度はタヌキの出現が相次ぎ、電話での問い合わせも例年より多く、毛の抜けた病気のタヌキの通報も多く寄せられました。

また、目標値は香南市有害鳥獣被害対策協議会事業計画に則った数値であるため 635 頭羽から 735 頭羽に変更をしたいと考えています。

3 番目の戦略の柱「基盤整備・防災への取り組み」について、1 つ目の耕作条件改善事業については計画されていた中ノ村と東佐古地区の堰と水路の改修工事が一部繰り越しとなりましたが、ほぼ完成したため A 判定としています。

2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業は目標値 20 基に対し実績が 5 基であるため評価は C となりました。

県と市の補助金以外に自己負担も発生することから、整備が伸び悩んでいるところもあり、タンク所有者には整備を推進する書面を直接郵送しましたが結果は 5 件となりました。

令和 3 年度も引き続き書面を送付し、啓発を進めていきます。

続いて、部会から出た意見としましては、資料 2 の 3 ページ、農業後継者推進事業に対してですが、補助金が年々減ってきているのではないかという意見がでておりました。

部会では、事務局より報告があり、1 期目の産業振興計画の実績値参考にすると平成 30 年度をピークに下がってきているという数値になってますが、新規者の数値だけを拾うと、平成 28 年度に 11 人いたのが 29 年、30 年、令和元年は 3 人ずつの横ばいとなっていました。

ただ、令和 2 年度は 2 人という実績で、少ない結果には変わりありませんが、令和 3 年度に向けては既に 3 人が事業を使う予定という報告を受けています。

それと、4 ページにございますが、親元で就農をした者でも、親子間の仲が悪く、農業が続かない事例についてのご意見もございました。

確かに親子間なので、会社の上司、部下よりも思いをぶつけやすい面があり、お互いが感情的になることがあります。プライベートなところもあり、デリケートであるため、慎重にアドバイスを行いながら経営継承に力を入れて行くという報告を受けています。農業部会からは以上になります。

### (林業部会長)

それでは林業部会についてご報告いたします。よろしくお願いいたします。

資料 1 の 8 ページをご覧ください。

まず、令和 2 年度の目標数値の達成状況についてご説明いたします。

令和 2 年度の林業分野は、大きな目標を間伐面積 25ha として各施策に取り組んで参りました。

その目標値に対しましては実績が 25.4ha ということで、目標値に達しているため評価は A となりました。

新型コロナウイルス対策として、緊急間伐総合支援費補助金の保育間伐において、森林環境譲与税を活用した 100% 補助メニューを新設したことで、コロナの影響で木材価格が低下している中ではありますが事業量を確保することができ、目標値を達成することができました。

令和 3 年度以降も保育間伐の 100% 補助を継続し、更なる間伐面積の増加に繋げていきます。

そのため、令和 3、4 年度の目標数値も 40ha に上方修正をしたいと考えています。

それでは、戦略の柱の 1 つ目の「森林環境の保全に向けた取り組み」について説明させていただきます。

まず、「森林の管理」の「意向調査の実施」につきましては、目標値を 30ha としておりましたが、森林所有者の情報を整理したところ、同一所有者が多く見られたことから、令和 3 年度以降に予定していた森林を含め、より広い範囲で実施し、目標値を上回る 121.5ha の実績値となり、A 評価としました。

このことから、令和 3 年度の目標数値を令和 2 年度の調査で未回答であった 44.1ha とし、令和 4 年度以降につ

いては意向調査後に実施する森林境界明確化の進捗状況を考慮して実施を検討することにしました。

そのため、現時点では令和 4、5 年度の目標値は 0ha とさせていただきます。

また、その下の「森林境界明確化事業の実施」の「森林管理制度森林境界明確化委託事業」につきましては、目標値 25ha に対して実績値 30.9ha となり A 評価としました。

従来は、国の交付金を使って森林組合主体で実施しており、単価が低いことから赤字が発生していましたが、令和 2 年度より、森林環境譲与税を活用して、香美市・南国市と協議した上、現状にあった単価を設定し、市が事業主体として森林組合に委託しました。

令和 3 年度以降につきましても、意向調査対象森林である夜須町仲木屋で実施いたします。

また、令和 3 年度以降の目標値を 40ha に上方修正をしたい考えです。

次に 9 ページの戦略の柱の 2 つ目の「啓発・普及への取り組み」について説明させていただきます。

「山や森林に親しむ機会の提供」の「木育事業」につきましては、目標値 11 回に対して、実績値が 10 回となり B 評価としました。

新型コロナウイルスの影響で、活動を実施できない期間もありましたが、林業部会の堀田委員に講師をお願いし、市内の保・幼・小・中学校に出向いて森林体験学習や木工体験を実施いたしました。

また、当初の取り組み内容に入っていなかったため、実績値には反映していませんが、木育の取り組みの一環として、香南市内の新生児に木のおもちゃを贈呈する「香南市の森からの贈り物事業」を新設し、対象者 191 人に案内を発送し、申込みのあった 152 人に配布いたしました。

令和 3 年度の以降も引き続き、市内の保・幼・小・中学校での森林学習や木工体験や「香南市の森からの贈り物事業」を引き続き実施いたします。

さらに高知県森と緑の会香南市支部の事業として、緑の募金を活用し、市内の保育所と幼稚園に香南市産材を活用した木製のおもちゃを贈呈し、子どもたちが木に触れる取り組みを強化していきます。

また、令和 3 年度以降の目標値につきましては、11 から 13 に上方修正させていただきたいと考えています。

これは、目標値を設定した当初に市内の保・幼・小・中学校 22 施設を対象に 2 年間で全施設を回ることを目標に数値設定していましたが、それ以外にも森田村塾や民間の施設からも要望があったのでそれらを踏まえて 1 回とし、令和 2 年度より取り組んでいる「香南市の森からの贈り物事業」を 1 回としてカウントして 13 回に上方修正を行いたいと考えています。林業部会からは以上になります。

## （水産部会長）

続きまして水産部会のご報告をさせていただきます。

資料 1 の 10 ページをごらんください。

4 月 27 日に開催されました第 1 回水産部会により、令和 2 年度の取り組み実績についてご報告させていただきます。

第 2 期の水産分野の数値目標は「沿岸漁業総生産額」としています。この目標達成に向けて、「地産の強化」「流通・販売の強化」「担い手の確保」の 3 つを戦略の柱とし、取り組みを進めていくことにより、漁業者の所得向上による魅力ある水産業として、若者が住んで稼げる漁村を目指すこととしております。

令和 2 年度「沿岸漁業総生産額」は 2 億 8 千 5 百万円の目標値に対し、実績値が 2 億 9 千万円となったことから、達成評価は A となりました。

特に水産業は天候等の自然条件の影響により好不漁はありますが、目標達成の要因としましては、特にイワシシ

ラスについて、年度当初は例年になく漁獲が少なかったのですが、秋以降増加し昨年並みに回復したこと、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている漁業者に対して、漁業の生産性の向上、漁業経営の安定化を図るために燃料費等の運営経費に対して市から一部補助を受けたことにより、沖へ出る意欲に繋がったことも少なからず目標値を上回ることが出来た要因であると考えています。

次に水産業分野の数値目標に繋がる戦略の柱の各取り組みについて、ご報告させていただきます。

11 ページの戦略の柱となる「地産の強化」における「漁業者の生産性の向上」でございます。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国に緊急事態宣言が出され、各産業に多大な影響がでてきた年でありました。

そのため、先ほども報告させていただきました、漁業の生産性の向上、漁業経営の安定化を図るために燃料費などの運営経費に対して一部補助する「水産業活力支援事業費補助金」により、25 経営体、うち内水面養殖業者 4 経営体への支援が実施されました。

この補助制度につきましては全国に緊急事態宣言が出され、その支援として実施されたものであり、令和 3 年度の予定はないということですが、委員からは「燃料費の補助は漁業者が沖へ出ることの意欲・生産額増加に繋がるので継続してほしい。」との意見がありました。

この事業は県内で香南市・芸西村のみで行われたもので、この取り組みについて、市から県への情報提供、県での制度化もどうですかという投げかけを行ったとの報告もありました。

最近では新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いていますが、高知県における状況や水産業への影響を踏まえ検討していただければと思います。

次の戦略の柱である「流通・販売の強化」につきましては、「市内水産物の認知度向上」「2. 高知県漁協手結支所の販売額」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、当初は大口取引先との取引量が大幅に減少していましたが、担当者の販路拡大の努力、また夏以降の取引が回復し、目標値の 79.5%、前年度比 75.5%まで回復したことから、浜値の下支え機能の維持に繋がっていると考えます。

続きまして、12 ページをご覧ください。

「3. シラス加工品販売額」につきましては、事務局の方でシラス加工業者を訪問しましたが、新型コロナ関連の支援策の周知が主になり、魚価向上に向けた具体的な取り組みのヒアリングは未実施に終わりました。令和 3 年度は、引き続き加工業者への訪問を行い、イワシシラスの魚価向上に向けたヒアリング、また加工品販売額の目標値設定についても併せて協議していくこととなっています。

「学校給食等への納入」「1-1 かちりじゃこ」につきましては、昨年からは学校給食への試験的な納入を開始し、9 月以降は定期的な納入となり、目標値 16 回に対し、実績値は 58 回と目標を大きく上回りました。

この結果を踏まえ、部会では次年度からの目標値の上方修正を、最低でも年に 40 回との意見がありました。

しかし、給食の献立の都合により上限もありますので令和 2 年度の実績をもとに目標値を設定し、次回部会に諮っていきたいと考えてます。

最後の戦略の柱である「担い手の確保」につきましては、吉川バッチ網船主会総会での就業支援制度の説明を実施し、(一社)高知県漁業就業支援センターの HP に令和 2 年 10 月より市内 2 経営体につきまして、雇用型での求人情報を掲載しました。

ここ数年は新規漁業就業者の確保に至っていない状況でありましたが、昨年 12 月より吉川において、1 人短期研修を開始し、1 月より「雇用型漁業支援事業」を開始しております。

今回初めて雇用型での新規漁業就業者であり、令和 3 年度も引き続き、就業支援センターと連携し、就業者支

援を実施していきたいと考えています。以上で水産業部会のご報告を終わります。

### (商業部会長)

続けて、商業分野の報告をさせていただきます。資料1の13ページをご覧ください。

去る5月7日に開催されました商業部会では、令和2年度の取り組み実績等について確認・協議を行いました。

第2期の商業分野の数値目標といたしましては、商業者数の維持と新規事務系企業数の2つを設定しています。

まず、1つ目の数値目標については、令和2年度の目標値である商業者数813者に対し、実績値が779者と大幅な減少となり、数字上はB評価ですが、目的は商業者数の維持であったことから評価はCとしております。

この目標値は、平成30年度に市商工会が高知県に報告を行った事業者数を基準値とし、そこから目標値の設定を行いましたが、新型コロナウイルス感染症に係る各事業の周知等の際に、連絡が取れない等の事業者が見受けられたことから、令和2年度に事業者の精査を行いました。

この結果、すでに廃業・店舗がなくなっている非会員事業者が多かったことがわかり、大幅な減少となりました。令和3年度は、これらのことや新型コロナウイルス感染症の長期化等による市内事業者への影響を注視しつつ、再度目標値の設定について部会内で協議を行うこととしています。

また、2つ目の数値目標である、新規事務系企業数は、令和2年4月1日に、道の駅やすの空きテナントとなっていたE棟に、東京都に本社を置く合同会社NGSが入り、目標値2社に対して、実績値は1社となり、達成評価はCとなりました。

目標達成できなかった要因として、新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏企業に対するアプローチの機会が減少したことに加え、首都圏等で、テレワークの普及等により、雇用の在り方や働き方に対して、大きな転換期を迎えたことが影響しているのではないかと考えております。

次に商業分野の数値目標に繋がる各取り組みについて、報告させていただきます。

13ページから始まる「1. 商店街等振興計画の策定」、「2. 空き店舗実態調査」、「3. 空き店舗バンク事業」ですが、こちらは、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策や支援事業を優先したため、令和2年度中の実施を見送っています。

次に、15ページの「1. 緊急融資保証料補給金事業」については、新規利用件数1件と目標設定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の資金繰りを支援するために、国がコロナ融資制度を創設したため0件となりました。

また、感染症の影響によりセーフティネット保証の認定件数が令和元年度は0件であったのが、令和2年度は262件となり、多くの市内事業者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている状況です。

次に16ページの「地場産品販売促進事業」については、感染症の影響からお取り寄せが身近になったことや新たな顧客獲得やリピーター確保に向けて新規事業者の開拓や季節商品の開発、イベント等への出店、ふるさと納税特設サイトへのPR動画の掲載等を行った結果、ギフトカタログとふるさと応援給附金の合計売上が前年比約116.6%の約1億7千万円となりました。

最後に商業部会当日に出た意見についてですが、資料2の17ページをご覧ください。

商業部会では、数値目標については、商業者数の目標数値は見直した方がいいと思うが、感染症の影響が長期化しており、その影響を踏まえて見直した方がいいのではないかと。

現時点で新型コロナウイルス感染症の影響をあまり受けていない事業者も将来的には影響が出てくると思われる。といった意見が出されました。商業部会からの報告は以上です。

### (工業部会長)

続きまして工業部会の報告をさせていただきます。資料1の17ページをご覧ください。

去る4月28日に開催されました第1回工業部会により、令和2年度の取り組み実績や令和3年度の取り組みを確認いたしました。

令和2年度の総括ですが、第2期の工業分野の数値目標といたしましては、製造品出荷額と新たに新規雇用者数を目標値として加え、拡大再生産による雇用拡大と地域の賑わい創出を図ることとしております。

令和2年度製造品出荷額は360億円の目標値に対し、実績値が344億円となったことから、達成評価はBとなりました。

目標達成に至らなかった要因といたしましては、令和元年より新たに操業を開始した立地企業が、機械設備等の導入に遅れが生じ、一部操業のスタートになった事が考えられます。

また、新たな数値目標である新規雇用者数につきましては、目標値5人に対し、令和2年度末の実績が20人となったことから、達成評価はAとなりました。

目標達成の要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや包装フィルムなどの製造が特需となり、特定業種の製造業が新規雇用を増やしたことで、目標値を大幅に上回ることが出来ております。

次に工業分野の数値目標に繋がる各取り組みについて、ご報告させていただきます。

17ページの戦略の柱となる企業誘致の促進、「ものづくりの基盤整備」における具体的な取り組みの「1. 新規工業団地整備事業」でございますが、令和2年度に実施いたしました適地調査により、5箇所の候補地を選定し、各候補地との比較検討を行った結果、香我美町下分地区を最終候補地として選定いたしました。

令和3年度は地権者の方々を始めとし、地元の土地改良区やまちづくり協議会などの関係機関に対して説明会を開催し、ご理解をいただいたうえで最終候補地の造成基本設計に着手してまいります。

また、「2. 川谷刈谷地区工場用地の分譲」につきましては、令和3年3月に(株)タケナカダンボール社と分譲契約を締結いたしました。今後は同社の円滑な操業開始に向けて支援を行ってまいります。

次に18ページになりますが、「3. 香南市企業誘致条例の改正」につきましては、現行の支援制度の見直しを行い、新たに香南市企業立地促進事業費補助金を制定いたしました。

当該補助金により、立地企業の用地取得に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上に繋げてまいります。

次にもう一つの戦略の柱である「既存企業の育成・支援」ですが、「1. 商談会開催事業」につきましては、商談会の開催を12回予定しておりましたが、新型コロナの影響により、開催が7回に減ったことから商談件数が30件となり、昨年度の実績を上回る事が出来ませんでした。

令和3年度はWEB商談を併用して商談機会の増加を図り、受注及び販路の拡大を目指します。

次に、19ページになりますが、「4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業」につきましては、1件の認定に繋がったものの、認定対象者が中途退職により助成金の交付に至りませんでした。

令和3年度には企業訪問等の聞き取りから、数人の申請予定者がいる見込みですが、市内事業者への周知だけでなく、保護者や学生にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図っていきます。

また、工業部会での令和2年度の各施策に対する主な意見といたしましては、次の2点があげられました。

新規工業団地整備事業については、最終候補地の奥にも工業団地があり、付近の交通量の増加が懸念されるこ



とから既存道路の拡幅など、周辺環境を考慮した計画にすること。また、未来人材育成奨学金返還助成事業については、市広報誌も活用し、市民向けにもピーアールを強化する事で、当事業の利用促進を図ること。これらの意見を各施策に反映し、令和3年度の工業分野の取り組みは、ものづくりの基盤整備強化と中小企業の技術向上・経営革新の支援により、数値目標の達成を目指します。以上で工業部会の報告を終わります。

**(観光部会長)** ※サイクリング専門委員会のことについてもご報告あり。

次に観光分野とサイクリング専門委員会についてのご説明をさせていただきます。

まず観光部会のご説明をさせていただきます。資料1の20ページをご覧ください。

観光分野では市内観光施設10施設の入込客数107万人という目標を掲げ、これに寄与する事業に取り組んでまいりました。

令和2年度の実績値は90.7万人であり、達成率85%、前年度比87%となり、達成評価はBとなりました。

目標値に達しなかった要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が主な原因でございます。

緊急事態宣言発令による移動自粛やインバウンド需要の激減、11月末から12月にかけての高知県内での感染拡大、また、施設の一時休業・イベントの中止等により目標値に達することが出来ませんでした。

次に各事業についてご説明いたします。

まず、「1. 香南市のPR活動の強化」でございますが、こちらは日曜市と高知新港でのPRの実施回数を指標としております。

実績値は、令和2年度は目標値25回に対して実績値8回となり、評価はCとなっております。

要因といたしましては、コロナの影響により、日曜市の中止期間があったことや感染状況により出店自粛をしたことや、高知新港のPRにつきましては、高知新港への寄港が2回のみであったため、目標を達成することが出来ませんでした。

令和3年度につきましては、広報誌での出店者を募集し、特産品等のPRをして、香南市の認知度向上を行います。

資料の22ページの「1. 物部川エリア観光連携事業」につきましてご説明いたします。

こちらは南国市・香美市・香南市の9施設の入込客数を指標としており、目標値77.7万人に対して実績値46.0万人となり、評価はCとなっております。

要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響で各施設とも前年度よりも入込客数が減少しており、数値目標が達成できませんでした。

令和3年度につきましては、コロナの影響で少人数での旅行需要が増えており、個人旅行向けのコンテンツやレンタカープランを充実させ、販路の拡大も行います。

また、教育旅行や遠足の需要も増えているため、近隣県や県内へのセールス活動を実施します。また、感染状況を見極めながら、情報発信や観光商品を充実させることにより、関西圏からの観光客の誘致を行います。

次に、資料の23ページの「2. 塩の道を活用したイベントの開催」についてご説明します。

こちらは「塩の道トレイルランニングレース」と「土佐塩の道30kmうおーく」の参加者数を指標としており、目標値440人に対して実績値は182人となり、評価はCとなっております。

「塩の道トレイルランニングレース」は令和2年10月4日に開催し、出走者は182人でした。コロナ禍でも感染対策を行い、開催することができました。

「土佐塩の道 30 km うえーく」は 3 月に開催を予定しておりましたが、コロナの影響により令和 3 年 5 月 15 日に延期し開催し参加者 98 人となっております。

なお、「塩の道トレイルランニングレース」は、今年度は 10 月 3 日を予定しておまして、ミドルコースの 1 カテゴリで、募集人数 400 人で開催予定となっております。

続きまして、サイクリング専門委員会の説明をさせていただきます。資料 1 の 25 ページをごらんください。

まず、数値目標についてご報告いたします。

「サイクルイベント大会参加者数」ですが、こちらの数字は、目標値などが記載されている右側に対象となる 6 つのイベントの参加者数の合算となります。

この 6 つのイベントの目標値は、26 ページの「3-1」より順に記載されておりますが、令和 2 年度の精査を行う中で、この 6 つのイベントの合算と、先に述べた数値目標の記載に間違いがあることがわかりました。

正しくは、赤の括弧で示している数字でありましたことから、今回の策定委員会では、修正を依頼したいと考えています。

それでは説明に戻ります。

第 2 期のサイクリング専門委員会の数値目標といたしましては、サイクルイベント大会参加者数とサイクルサポーター数を掲げ、自転車のまち香南市を周知し、認識を拡げていくこととしております。

令和 2 年度の対象サイクルイベントの大会参加者数は、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止や計画見直しによる延期で 580 人の目標値に対し、実績値が 106 人となったことから、達成評価は C となりました。

また、サイクルサポーター数も目標値 10 団体に対し、現状、サイクルオアシス認定をされている 6 団体となっております。

目標達成に至らなかった要因といたしましては、コロナ禍によりイベントの規模縮小や従来のイベントが「開催できない」ということが起こっております。

しかし、新しいイベントとして「キッズバイク」イベント、参加者:136 人なども創出され、できることへの取り組みもなされています。

次にサイクリング専門委員会の数値目標に繋がる各取り組みについて、ご報告させていただきます。

25 ページの「1. レンタサイクル推進事業」でございますが、令和 2 年度は、春頃や GW は新型コロナウイルス感染症で利用数が落ち込んでいましたが、夏以降は密にならないアクティビティとして少しずつ需要がでてきました。

また、10 月からスタートした「香南市で遊ぼう割 ♪ キャンペーン事業」により、利用者は増えてきましたが、年度当初の落ち込みが影響し目標値まで届きませんでした。

令和 3 年度は、令和 4 年 1 月に土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線「夜須駅」前の「道の駅やす」の敷地内にレンタサイクル施設を設置予定です。

このことから、令和 4 年度からの目標値の修正を本年度中に行ってまいります。

次に 26 ページの、「3-3. イベント大会の開催(ポタリング)」につきましては、令和 3 年度は通常 1 回に 20 人の参加を見込んでいましたが、現在、新型コロナウイルス感染症のため、20 人は入れる店舗が限られていることから、新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、1 回 15 人定員で開催していきます。

次に 27 ページの、「1. 健康サイクリングの開催」につきましては、現行、年 4 回の開催でしたが、「健康サイクリン

グ)の定期的な開催を促すため、7月から第1日曜日を「健康サイクリング開催の日」として、定期的に開催していきます。

また、サイクリングターミナルを主会場に、自転車を活用した座学として健康対策課や大塚製薬(株)にも講師を依頼しております。

次に29ページの「自転車を活用したまちづくりの推進」について、「1. 香南市自転車活用推進計画の策定」をご覧ください。

当計画は令和2年度中に策定を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症で会議等がスケジュールどおりに行えなかったため、自転車活用推進計画を令和3年度に繰越しております。

令和3年2月4日に第1回策定委員会、令和3年3月下旬に観光・環境・健康・教育の第1回目の作業部会を開催、令和3年5月に第2回目の作業部会を開催、6月に第2回策定委員会、7月に最後の策定委員会を開催予定です。令和3年9月にパブリックコメントを実施し、9月末には計画策定の予定です。

計画を策定することで市民の皆さまにも、自転車のまちとして周知できるよう、PRにも努めてまいります。

以上でサイクリング専門委員会の説明を終わります。

### (建設課)

住宅分野についてご報告いたします。資料1の31ページをご覧ください。

戦略の柱として「住環境の整備・支援」のうち、「住環境の整備」の「住宅リフォーム推進事業」ですが、住宅リフォームに際して事業費の20%、上限20万円で市民の方に使いやすく人気の高い補助事業となっております。令和2年度の実績ですが、補助金の申請は113件あり、1,500万円の枠に対し1,459万円の交付がされています。当補助金を含む、リフォームに係る総事業費は1億1,263万円であり、市内経済の発展に寄与していると考えられます。

次に、「市営住宅の生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業」については、令和2年度の目標値である20戸を超える22戸の市営住宅に単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と福祉対応型改修工事として手すり等を新設する工事を行っております。

また、「宅地造成整備事業」につきましては事業規模を想定し今後の詳細設計の検討を行う必要があることから、概略設計資料の作成を令和2年度に実施しました。

「住宅耐震改修事業」につきましては、診断・設計・工事ともに市の広報紙・HPへの掲載、チラシの配布、戸別訪問を行いました。

また自主防連絡会では実績や事業内容の説明をし、市のイベントブースではパネルや模型の展示、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知することで広報活動に努めました。各事業の申請件数はある一定進んでいること等から、減少傾向がございます。

また、工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは低コスト工法の業者を紹介するようにしています。

「コンクリートブロック塀等耐震対策事業」につきましても、市の広報紙・HPへの掲載、チラシの配布で広報活動に努めました。

また、戸別訪問にお伺いした際や、老朽住宅除却事業の申請者や管理不全な空き家への所有者等が敷地内に危険性のあるブロック塀等も所有している場合、ブロック塀耐震対策の補助制度の紹介も行っております。

なお、大阪府北部地震後には問い合わせが多数ありましたが、近年は減少傾向がございます。

続きまして資料 1 の 33 ページ下段以降をご覧ください。戦略の柱、「空き家対策への取り組み」となります。空き家対策事業については、空き家調査の効率化を図るため、まちづくり協議会の協力を得て、空き家情報の収集を行いました。今後、収集した情報を基に空き家調査を実施し、個々の空き家の状態に応じて除却や利活用の推進を強化していきます。

また、それぞれの事業において、制度の周知に努めたことなどにより、目標値を達成しました。

住宅分野は以上になります。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。総括評価について、各部長よりご報告をいただきました。

また、一部、市の補助事業等について部長よりご報告をいただき、その点においては、建付けが悪かったのではないかと個人的に思った次第です。申し訳ございませんでした。

ご丁寧にご説明をいただきありがとうございました。

ここからは、意見交換となります。

各部長から提案されている数値目標などについてもご発言をいただければと思います。いかがでしょうか。

#### (委員 12)

ご報告いただきました観光分野ですが、資料 1 の 24 ページにございます調査事業についてでございますが、この事業は R2 年度より取り組みを始めておりまして、昨年度の実績は回答率が 17.3%でございました。

こちらにつきましては、当協議会が観光庁の地域づくり法人及び DMO の法人登録を受けていることが関係しておりまして、今後も当事業を進めてまいります。

R3 年度におきましては、回答率 25%を実施計画に掲げております。いわゆる、お客様のお声、ソフト面を事業者へお伝えし活かしていただく重要なものと捉えておりますし、当協議会の調査費も活用しており、R3 年度の目標値の部分には、回答率といいますか、サンプル数というかをご担当者様と協議させていただき、掲載させていただきたいと思います。

また、令和 4 年度以降につきましては、当協議会で 3 か年計画を今年度作る予定ですので、その策定後に、数値目標等を掲げさせていただければと思います。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

#### (委員 9)

ご報告と言いますか、コロナ禍において、昨年度は事業者様に影響が出ておりまして、色々な相談が寄せられました。金融機関ですので、その状況をお伝えしようと思います。

資金繰りは皆様ご承知のとおり、県の制度融資が出来て、その後、国の制度融資が出来ました。

弊行も 100 件以上のご相談や対応をさせていただき、事業者様のお役に立てたかなと感じています。

また、資金繰り以外にも、これはコロナ以前よりありましたが、ビジネスマッチングによる取引先の紹介や販路拡大の支援、補助金や給付金の申請支援やコロナ対策業者の紹介などを行ってまいりました。

なお、このことは現在も取り組んでいるところです。

さて、制度融資ですが、ほとんどに利子補給があります。また、ほとんどの方が元金据え置きでのお借り入れを行っています。

この元金据え置きは、2～3年後に支払いが始まるわけですが、そのタイミングでコロナが落ち着いていないと、企業様も非常に苦勞されますし、返済ができない場合は、条件変更や追加融資も必要となってきます。金融機関としては、お客様の状況を把握し、遅れない対応を行っていくことを考えています。以上です。

**(赤池委員長)**

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

さて、ここでは、上方修正をする部分について先ほど共有をさせていただいたところだと思います。また、集計の間違いについてもご確認をいただいたところだと思います。

先ほど水田委員からもお話もありましたが、やはり商業部門というのは非常に苦しんでいるところだと思います。商業部会では、先ほどのご報告の中で、今回新たに、調べた結果、実数としては、商業者数が減っていることをご報告いただいたと思います。

また、この目標数値につきましては、資料1の13ページにもありますが、779の実績値であります。そもそも基準値となる数字が813ではなく今回の調査の数字に近かったのではないかとということでもよろしかったでしょうか。

**(仙頭委員)**

そうです。

**(赤池委員長)**

再設定を予定ということで、設定については事務局及び商業部会でお話をして決めていくということで、本日のご提案があるということではない認識でよろしいでしょうか。

**(商業部会長)**

そうです。

**(赤池委員長)**

わかりました。その他、いかがでしょうか。

先ほど商業部会の中で、首都圏企業へのアプローチの減少があり、なかなかできないというお話がありました。本日は、オンラインでご参加をいただいておりますが、コロナ禍の地域雇用のトレンドと機会というような観点で首都圏の状況をお教えいただけませんかでしょうか。

**(委員 10)**

本日もオンライン参加となりますがよろしくお祈いします。

東京も緊急事態宣言がなかなか終わらず、6月20日まで延長となっております。

さて、弊社は経営者さん向けのメディアや自治体さんの向けのメディアを展開しています。

香南市とも包括連携協定を結ばせていただいて、首都圏の企業様が、香南市に拠点を構えて、雇用を盛り上

げていこうという取り組みをご一緒させていただいております。

昨年度からのコロナ禍において、そういった取り組みが出来ていない状況ではありますが、その中において、雇用を取り巻くトレンド・変化について、一度整理をして、1つの機会を模索できないかというところで、整理をしているところです。

まず、コロナにより、首都圏の方々の働く人々の働き方というのは、個人的にもそうですが、想像以上に変化がありましたし、これは、コロナが落ち着いても、元には戻らないというふうに関しは感じています。

その背景として、コロナが来る以前より、働き方改革ということで、いかに働き手を増やし、その生産性を高めていくかというところの必要な施策が広がりを見せてきたが、一方で「柔軟な働き方」ですね、ここは技術の進展によって、言い方は適切ではないかもしれませんが、コロナと相性がいいといえますか、テレワークが一気に普及したと感じています。

香南市への拠点開設を盛り上げていこうという部分については、引き続き強化をしていきたいところですが、プラスαとして、こういうことを機会として活かしていくことを考えているところです。

トレンドのワードとしては「テレワーク」「ワーケーション」や「デュアルライフ(二拠点住居)」が広がっていますが、どんな構造で、どんな部分でトレンドとなっているかということですが、1つの観点は雇用主がどの企業なのかということになります。雇用主には「域内人材」と「域外人材」とに分かれます。また、もう1つの観点として、働き手がどこにいらっしゃるかということで、「域内企業」に勤めるのか、「域外企業」に勤めるかということになります。

域内を香南市として置き換えていただくとわかりやすいと思います。

雇用主が「香南市内の人材」か「それ以外、つまり首都圏企業」と置き換えて、働き手を「香南市民」か「それ以外、つまり首都圏に住まわれている方」というふうにお考えいただければと思います。

これまでは、首都圏企業(域外企業)を香南市に誘致し、域内企業となっただけ、香南市民(域内人材)を雇用する取り組みを行っていましたが、引き続きこの部分については取り組んでいきます。

参考にですが、首都圏企業が首都圏の人材等を雇用し、その方々が香南市で働くような動きについては、「ワーケーション」や「デュアルライフ」ということで、働く方々の働き方や過ごし方という部分でトレンド化してしまっていて、コロナ禍において、特に自治体側が取り組みを活発化しているケースが多くございます。

これは、観光や移住施策ということで動きが活発化していますが、地域内の雇用を進めるという部分ではフォーカスから外れるのかなと感じています。

また、香南市企業(域内事業)が香南市以外の人材を戦力として活用するというようなトレンドも起きています。ここはテレワークと副業ということで、高度専門人材というようなIT分野やマーケティング分野の専門の高度人材の方が、テレワークを通じて、副業として、香南市内の企業様と契約を結ばれるというようなケースも広がっていると思われまます。

この部分は企業様だけではなく、自治体として契約を行っているケースもあり、岡山県の某市でもそのような取り組みが行われていると伺っております。

このような場合、マッチングを主としている人材企業様では非常に盛り上がっておりますし、国の地方創生交付金の予算の活用ができるということで、さらに盛り上がっていくケースだと思っております。

さて、主題である、首都圏企業が香南市民を雇用するケースでございますが、ここには2つのケースがあると思っております。

1つは、これまでの取り組みということになりますが、先ほどご報告もありましたとおり、コロナ禍で具体的な活動はできませんでしたが、一定コロナ終息後は経済も回復し、復調すると推測されます。

やはり、首都圏では首都圏の人材を雇用出来ないという問題もありますので、拠点を地方へ移す動きについては今後復調すると思われまます。

2つ目は、テレワークによる首都圏企業による香南市民の雇用創出ということで、ここは前回の会でもお話をさせていただきまました。

弊社もコロナによりテレワークが急速に普及したことにより、ずっとフル在宅でして、全従業員がその対応となっておりますし、会議やお取引先様との商談等々も zoom 等を活用している状況です。

東京都産業労働局の本年5月7日に公表されていますデータでは、都内企業のテレワーク実施率は昨年4月以降、毎月50～60%で推移されているということもわかっておりますし、ICT環境の進展や従前の働き方改革の背景も重なり、雇用形態・勤務地にとらわれないスタイルがさらに浸透し、定着していくと思われまます。

事例としては、地方の学生は、大学卒業後、首都圏や関西圏などに就職をされるケースが多いと思われまますが、長野県の某市では、東京都の某商工会と連携し、その市のIT企業32社とフルリモートを前提とした就職に取り組まれたというふうに伺っております。

内定後、学生さんは長野県の某市に住み続けながら、フルリモートでその企業で仕事を行うというような取り組みになっています。

このように、行政としての働く場所の支援自体が人口減少に歯止めをかけているケースもあまます。

また、もう1つの事例として、首都圏企業様において、非常に元気なベンチャー、スタートアップ企業様では、活躍してくれるのであれば、住む場所はどこでも良いよということで、中途採用をかなり強化されているケースも昨年の夏になります事例があまました。

事業内容や職種によってはテレワークの適合度には差があまますが、このように普及していることがあまます。

また、これは正社員のトレンドということではなましません。アルバイトさんなどをいかに囲い込むかという1つの戦略戦術として、非常に盛り上がりを見せているところでごまます。

先ほど首都圏の企業でテレワーク自体が無くなるかどうかについてお伝えをしまましたが、首都圏では、企業側の採用活動としてテレワークを認めないとそもそも応募をもらえないという状況でありまして、採用力を維持向上させるためには必須事項となりつつあまます。簡単ですが、以上で説明とさせていただきます。

### (赤池委員長)

ありがとうございました。皆様から、今のお話等についてご質問などはございまますでしょうか。

私から1点お伺いしたいのですが、長野県の事例があまましたが、香南市に置き換えて、テレワークによって、首都圏企業が香南市の方を雇用する形が今後考えられるということだと思われまますが、その際の採用情報みたいなものは、ハローワーク等に載ったりするものでしょうか。つまり、意識を変えて、そういうところにアクセスをしないといけないのでしょうか。

採用情報の掲載と言いまますか、その部分について基本的なところをお教えいただけないでしょうか。

### (委員10)

域内企業による域内情報の提示であれば、ハローワーク等も活用されると思われまますが、首都圏企業が香南市の方を採用される場合は、ハローワーク等には載せないと思われまます。

この部分については、広報方法については、定着といいまますか、まだ生まれていないところでごまます。

各人材会社さんが、ビジネスチャンスと捉え、各地域の核となられていくように動かれていくと感じています。例えば、行政側がこういった取り組みを行い、広報支援を行うということは最新事例につながると考えています。

**(赤池委員長)**

ありがとうございました。皆さんもよろしいでしょうか。

それでは、議事①の各部会からの数値目標の変更についてご意見などはいかがでしょう。無いようでしたら、先ほどご説明がありました数値変更につきまして、ご了承いただくということでよろしいでしょうか。

※ 承認

**(赤池委員長)**

ありがとうございました。

それでは、次に移りたいと思います。

ここからは、R2年度の新型コロナウイルス感染症関係の事業の成果を、資料3を使って関係課よりご説明させていただきます、意見交換を行いたいと思います。

それでは、まず、農林水産課長よりお願いいたします。

**(農林水産課)**

それでは、ご説明をさせていただきます。

資料3の1ページをご覧ください。

まず、水産業活力支援事業でございますが、こちらは山下部会長からもお話がありましており、新型コロナウイルス感染症による影響をうけている地域の水産業者を対象に、本市の漁業の生産性の向上と漁業経営の安定化を図るため、3月から6月に使用した船舶用燃料の購入費や内水面養殖に係る施設の運転経費の一部を補助するものでして実績は記載のとおりとなります。

また、次の漁業災害対策資金利子補給金交付事業では、金融機関から借り入れた資金に対して、市が利子補給を行い、早期復旧と再生産、経営の安定につなげるために制度設定をいただきましたが実績はありませんでした。

次に緊急間伐総合支援事業は、三谷委員よりも話もありましたが、従来、保育間伐や作業道開設につきましては、補助金以外に自己負担がございましたが、R2年度以降は自己負担分も補助をしたことから、実績が伸びた経緯がございます。

最後に、香南市の市有林の間伐事業に伴いまして、間伐材を活用して、令和2年度より、生まれたお子様に「香南市の森からの贈り物事業」とうことで、おもちゃをお送りしてございます。

2ページの香南市事業者等応援給付金事業につきましては、この後商工観光課よりご説明もあろうかと思いますが、農林水産業に従事されている方の活用もございましたことをご報告させていただきます。



## (商工観光課)

次に、商工観光課の取り組みみました事業につきましてご報告いたします。

資料は、資料3の2ページからとなります。

ご覧いただきますとおり、数多くの事業を行っておりますが、全ての説明には時間を要しますことから、いくつか抜粋してご説明をさせていただきます。

まず、2ページの5番「香南市事業者等応援給付金」になります。

内容につきましては、国の持続化給付金事業の対象とならない範囲で売上が減少している法人・個人事業主を対象に記載のとりの金額を給付する事業となりまして、実績は 96件 2,762万円となります。

国の持続化給付金を活用した方が多かったため、結果的に当初予定していた予算の約15%の執行額となっておりますが、市内事業者への支援は行えたものと考えています。

次に3ページの10番 香南 BIG カーニバル事業ですが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食控えや営業自粛等が生じ、市内飲食店等は大きな影響をうけていることから、従来の「香南バル」をパワーアップして実施し、市民の外食消費を強力に後押しするとともに、市内飲食店などの売上回復や事業の継続を支援するもので、1セット 6,000円分のチケットを3,000円で販売し、別に1,000円分のタクシーチケット付で販売したところ、販売数 5,000セットで完売となっており、飲食に使えるチケットの換金率は約98%となっておりますが、12月に出されました「時間短縮要請などの影響」により、タクシー・代行の利用が激減した時期もあったことから、タクシー・代行分の換金率は約62%となっております。

次に11番の香南市プレミアム付き商品券事業になります。

この事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食控えや営業自粛等が生じ、市内飲食店等は大きな影響をうけていることから、市内経済の起爆策として、市内飲食店や小売店等で使用できるプレミアム付き商品券を発行し、市内経済の活性化を図りました。1冊 10,000円分の商品券を5,000円で1人 2冊までで販売をしています。

資料にもありますが、使用可能店舗は294店舗と市内の多くの事業所で商品券が使用できることやプレミアム率100%といったこと等から販売冊数や換金率は高水準となり、対象冊数66,342冊に対し58,898冊の販売がありまして、うち、99%にあたる5億8,701万円が活用されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減収する等した市民の家計の下支えや売上が減少した事業者の支援を行うことができたことから市内経済の潤滑油として活用されたと考えています

次に、4ページの12番 香南市で遊ぼう割♪キャンペーン事業、13番香南市に泊まってもらおうクーポン券配布事業につきましては、商工会さんや観光協会さんと連携・ご協力をいただき、感染状況を見極めながら実施をいただきました。

一定の観光入込客数と観光消費額の増加が図られたと考えてございます。

最後に、17番の「香南 BIG カーニバル参加店舗をテイクアウトで応援しよう事業」は香南 BIG カーニバルの開催期間中の12月に県の時短要請がありまして、繁忙期を見越していた飲食店においては厳しい状況が発生したことから、香南市役所の職員を対象に、テイクアウト商品の販売を行ったものになります。

以上が簡単ですが、取り組みの説明となります。

## (赤池委員長)

ありがとうございました。

ここからは、新型コロナウイルスに関する取り組みについてご意見などをいただきたいと思います。  
取り組みに対することや、後ほどご説明もあると思いますが、R3年度の事業に求めることなどがあれば、お願いしたいと思います。

ご意見がないということですので、次に進めさせていただきます。

次に議事②「令和3年度の取り組み」に移らせていただければと思います。

「令和3年度の取り組み」については関係各課長よりご説明をお願いいたします。

### **(農林水産課)**

それでは、資料4,5を活用し、ご説明をさせていただきます。

まず、資料4の1ページをご覧ください。

まず農業分野ですが、取り組みの柱としては、担い手の確保に向けた取り組み、経営改善・農地維持に向けた取り組み、基盤整備・防災への取り組みとしており、特段、令和2年度から変わったものはございません。

次に資料4の2ページの林業分野ですが、戦略の柱として、森林環境の保全に向けた取り組み、啓発・普及への取り組みとなっており、下段に拡充事業として市内保育所・幼稚園に香南市材を使った木製品を贈呈するとあります。

資料5の2ページの右上に詳細を記載してございますのでご確認をお願い致します。

次に資料4の3ページになります水産業分野についてご説明いたします。

水産業分野では、地産の強化、流通・販売の強化・担い手の確保を戦略の柱としてお引き続き取り組んでいきます。

なお、新規事業としては、漁船導入支援事業ということで1件を予定しています。

こちらは、資料5の2ページ目の左下に記載をしてございます。

なお、資料5の3ページの右側に香南市事業継続支援金とありまして、こちらについては、現在受付をしております。昨年12月から1月に営業の時短要請がありましたが、影響を受けた事業者に対して市独自の支援金を給付するものになっています。

商工観光課と連携をしながら農林水産課も対応をしており、主に農業者の受付を行っています。

農林水産課からは以上になります。

### **(商工観光課)**

続けて、商工観光課から令和3年度の取り組み内容についてご説明させていただきます。

商業・工業・観光・サイクリングと4つの分野についてご報告いたしますことから少し長くなりますがご了承ください。

また、各部会長からいただきましたご報告と重複する部分もあろうかと思いますがよろしくご報告いたします。

まず、資料4の4ページをお願いします。商業分野になります。

令和3年度については、数値目標①商業者数814と、②新規事務系企業数2件を数値目標としています。

緑に黒字の部分が、目標を達成するための戦略の柱となります。

3点ありまして「空き店舗活用に向けた取り組み」「担い手の確保に向けた取り組み」「商業支援」となっています。

空き店舗対策全般においては、昨年度はコロナウイルス感染症の影響を受け、他の事業を優先的に実施したこともあり十分な実施が出来ませんでした。

本年度は会計年度職員さんも新たに採用し、空き店舗実態調査など確実に実施できる体制を整えているところであります。

令和3年度の拡充事業としては、「空き店舗等対策事業」の「香南市空き店舗等対策事業費補助金」について、これまでサービス業や小売り飲食業といった業種に限定しておりましたが、高知県信用保証協会の保証対象業種を補助対象業種へと拡充するために要綱の改正を行っております。このことは、資料は5の2ページ右下に詳細を記載しています。

担い手確保育成では、事業承継に関しては、事業承継を考えている事業者の把握、掘り起こしを行い、事業引継ぎ支援センター等の関係機関への紹介等を行い、事業承継の推進を図りたいと考えております。

人材の確保については、空き店舗調査に合わせて市内企業が求める人材ニーズ等を調査し、掘り起こした情報等は、他分野との連携をとりながら発信し、事業者と働きたい方をつなぐ支援をしていきたいと考えております。

商業支援では、3.香南BIGカーニバル地元応援お店チケットを子育て応援と合わせて実施します。現在商工会さんが参加店舗の最終とりまとめを行っておりますが、5月26日の時点で154店舗参加となっております。

7月号広報で販売方法等詳細にお知らせできると思います。

なお、使用期間は、8月から11月末を予定しています。なお、資料5の4ページ左に詳細を記載しています。

続きまして工業分野の説明をさせていただきます。資料4の5ページをお願いします。

令和3年度については、数値目標①製造品出荷額380億円と、②新規雇用者数8人を数値目標としています。

戦略の柱は「企業誘致の推進」「既存企業の育成・支援」となっています。

赤丸に新で示しております、令和3年度、新規事業についてご説明いたします。

「新規工業団地整備事業」につきましては、令和2年度に実施いたしました適地調査により、5箇所の候補地を選定し、各候補地との比較検討を行った結果、香我美町下分地区を最終候補地として選定いたしました。

今後、地権者の方々を始めとし、地元の土地改良区やまちづくり協議会などの関係機関の方々に対しまして、説明会を開催し、ご理解をいただいたうえで最終候補地の造成基本設計に着手してまいります。

香南市企業立地促進事業では、「香南市企業立地促進事業費補助金」として、立地企業の用地取得に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上を図るため実施します。

当初予算では4千万円を計上させていただき、2社の立地企業を予定しています。

立地企業が工場用地を取得し、一定の投下固定資本額と地元の新規雇用がある場合に用地取得の10%を交付する補助金となっております。

「香南市技能功労者表彰制度の新設」につきましては、25年以上同一職業に従事し、優れた技能、功績をもつ技能職者を表彰するもので、以前より、香南市在住の従業員も表彰を受けさせたいという事業者からのご意見があり、このたび創設することといたしました。

本制度より、市内技能者の技術向上、技能継承に寄与したいと考えております。

続けて、観光分野についてご説明させていただきます。資料4の6ページをお願いします。

令和3年度については、数値目標①観光施設入込客数110万人とさせていただきます。対象施設は、上段の目標の少し下に①から⑩に記載しています。

目標を達成するための戦略の柱は「香南市観光の発信」「観光の育成に向けた取り組み」「受入体制の強化」となっています。

香南市観光の発信では、「1. 香南市のPR活動」の強化として、日曜市や高知新港でのPRの実施回数を指標として実施しています。コロナ感染症の状況を見極めながら、観光、特産品PRを行い、認知度向上につなげたいと考えています。

観光の育成に向けた取り組みでは、広域観光の推進としまして、「1. 物部川エリア広域観光連携事業」に取り組んでいます。

令和3年度につきましては、コロナの影響で少人数での旅行需要が増えている状況もあり、個人旅行向けのコンテンツやレンタカープランを充実させ、販路の拡大も行う予定となっています。

また、スポーツツーリズムの推進も引き続き行い、サイクリングイベントや塩の道を活用したイベントの継続した開催を予定しています。

資料5の1ページ右下をお願いします。

子どもの遊び場確保事業では、保護者が安心して子どもを遊ばせることができ、遊びや学びを通して子どもの健全な成長と豊かで充実した生活の実現を目的として実施します。

県立のいち動物公園の入園パスポート引換券を対象者世帯に交付するものであります。

引換券1981件分を、5月25日に発送しています。

引き換えは6月1日からとなっており、5月号広報にも詳細が載っていますのでご確認よろしくお願いいたします。

資料5の4ページをお願いします。

令和3年度新型コロナウイルス感染症関係事業、香南市で遊ぼう割vol.2+泊まろう割キャンペーン事業ですが、香南市で27の事業者さまが参加のなか、好調でスタートいたしました。県内のコロナ感染症拡大の影響により5月25日からは一時休止となっており、再開の目途はたっていない状況にあります。

次に、サイクリング専門委員会の説明をさせていただきます。資料4の7ページをお願いします。

令和3年度は、数値目標①サイクリングイベント、大会参加者数780と②サイクルサポーター数5を数値目標としています。目標を達成するための戦略の柱は、観光、健康づくり、環境整備となっています。

拡充事業のレンタサイクル推進事業では、道の駅やすに、レンタサイクルの施設整備を計画しています。

一般のサイクリストだけでなく、観光サイクリングを目的とした利用者の利便性を向上させ、車や電車で訪れても気軽にサイクリングを楽しめる、市内の飲食店や観光施設への周遊の促進を図ります。

自転車を活用したまちづくりの推進では、令和2年度の取り組みで部長からの報告とも重なりますが、香南市の指針となる自転車活用推進計画を策定中です。

令和3年5月25日に第2回目の健康部会、観光部会の作業部会を開催しました。

今後、6月と7月に策定員委員会を開催し、9月にパブリックコメントを実施のうえ策定する予定となっています。

計画を策定することで市民の皆さまにも、自転車のまちとして周知できるよう、PR に努めてまいります。  
説明は以上となります、よろしくお願いいたします。

#### (建設課)

住宅分野についてご説明させていただきます。資料 4 の 8 ページをご覧ください。

令和 3 年度の事業といたしましては、今後も継続的な取り組みを実施してまいります。まず、新規事業としましては、赤岡町の市営住宅中浜団地の 48 戸の玄関ドアが老朽化しており、塩害等で開閉にも支障が出ている状況であることから取替工事を行います。

なお、令和 3 年度中にはその他の市営住宅につきましても住宅外部や建築設備の修繕が必要な団地を再度確認し、令和 4 年度以降の目標値を設定しますとともに、順次修繕工事の準備をいたします。

また、拡充事業としまして、まず、戦略の柱「住環境の整備・支援」にあります「市営住宅の生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業」では、これまでの目標値を 20 としていましたが、令和 3 年度以降につきましては 22 件と上方修正を行うこととしています。

また、戦略の柱「空き家対策への取り組み」の『空き家改修事業（空き家改修）』と『空き家改修事業（空き家修繕）』につきましても、活用が見込めることから、令和 3 年度から上方修正を行うこととしています。

なお、空き家改修事業(空き家改修)の補助金上限額は令和 3 年度より 182 万 4 千円から 185 万 7 千円に拡充することとしています。住宅分野は以上になります。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

ここからは、意見交換を行いたいと思います。

各説明の疑問点やご提案、また、R4 年度に向けた取り組みについて等、ご意見をいただきたいと思います。  
いかがでしょうか。

#### (委員 13)

令和 3 年度の目標値がかかれています。観光分野であれば令和 2 年度は 107 万人を目指すというあり、実績は 90.7 万人である。

令和 2 年度が達成できていないのに、令和 3 年度は第 2 期の計画策定時の 110 万人を目指すということでしょうか。

コロナの影響で令和 3 年度も苦しむはずだがこれで良いか。

#### (赤池委員長)

ありがとうございます。

観光分野はコロナの中で、非常に苦慮されています。

しかし、前回の会で、近隣の自治体に比べ香南市は入れ込み客数が前年比約 90%と非常に努力をされているというご発言をいただいたと記憶をしています。

減少している中でも減少に歯止めをかけていると受け止めています。

今いただいたご発言は、令和 3 年度の観光施設入込客数という数値目標のが、令和 2 年度の実績値 90.7 万人

ということがある中で反映と言いますか、則していないのではないかとこの趣旨だと思います。

令和3年度以降については、前回の会議で、コロナの状況の中で、観光は厳しいが様々な施策を取り組んでいる旨のご説明をいただいております。

また、数値目標については、コロナ前に設定された数値であります。コロナが終息したとしたときに、設定した目標値を達成する、近づけるということで、数値目標は変えないということをご確認いただいたと思います。

実際、令和2年度は90.7万人ということでB評価だが、当計画の中では、目標数値を変えずに、据え置きをして、このまま前に、できるだけ早い段階で戻していくということで前回の会でご確認いただいたと思いますが、事務局から補足はございますでしょうか。

#### (事務局)

赤池委員長のご発言いただいた経緯に間違いはございません。

#### (赤池委員長)

よろしいでしょうか。

他にございませんか。

#### (委員7)

先ほどご説明がありましたとおり、香南市で遊ぼう割 vol.2 + 泊まろう割キャンペーン事業は5月25日から一時休止となっており、再開の目途はたっていない状況にあります。

しかし、ゴールデンウィークから始まったこともありますことから、当事業は5月15日締めの実績として遊ぼう割は1,000人の方にご利用をいただいております。543,760円の補助金を活用しています。

泊まろう割の方も230人のご利用がありまして。23万円の活用がされています。

コロナが終息し、当事業が再開しましたら、広報をしっかり行い取り組んでいきます。

また、話は変わりますが、今、修学旅行が県外に行けないといったケースが増えております。

その中で、香南市の中学生も県外の予定が変更となり、高知県の西部の方へ伺っていると聞いています。

本来は県外を希望しており、修学旅行の出発時には残念がるお声もあるそうですが、高知県内でも大変広いので、高知県西部に初めて訪れる学生もいるということで、そこで様々な経験を積んで、笑顔で帰ってくるというようなお話を伺っております。

今後は、反対に西部の学生達に高知県の中心部にありますこの物部川エリアに訪れていただき、そういったところのセールスを是非、物部川 DMO 協議会さんに、香南市だけではなく広域で受入のセールスや誘客の取り組みを強化していただけないかと考えてございます。

#### (委員11)

前回の会でもお話をさせていただきましたが、ワーケーションについて少しお話をさせていただきます。

先ほどワーケーションのご説明にもありましたが、マスコミ等も全国各地の情報が入ってきているので、この取り組みをぜひ進めていただきたい。取り組みが遅れては意味がない。

商工観光課のほうで担当職員を配置して、スピード感をもって、すぐにワーケーションに取り組んでいただきたい

と思います。

**(赤池委員長)**

ワーケーションの取り組みについてですが、前回の会でもご意見がありました。

首都圏の動きなどのご説明もあり、少し様子を見ながらといったようなご発言もあったと思いますが、情報収集は引き続き行っていただき、香南市の方でも実施について検討いただければと思います。

その他いかがでしょうか。

**(委員 12)**

先ほどお話がありましたが、修学旅行に加え、遠足についても、かなり高知県に入ってきている状況で、高知県全体で、正確な数ではないが、割合で、前年度比 150%の予約が入っている施設があると聞いている。

地域によって格差は生まれているようですが、物部川エリアではアクトランドさんや龍河洞さん等もあり、団体さんの受入が増加傾向にあると見ている。

森尾委員からお話がありましたセールス・商談の部分でございますが、当協議会では、5 月より開催されている県内教育旅行の担当者会に参加をさせていただいている。

まずは現状の情報交換ということでお話をしております、今後の商談について意見交換を行っています。

また、6 月末に中国地域に商談に行きませんかというようなご案内も来ていますことから、どういった人員体制で何うかについて、また、コロナの状況を踏まえてといったところになりますので、実際に商談に行けるのかどうかについても協議を行っているところでございます。

商談については、当協議会を中心といたしまして、観光協会さんにも以前よりご協力をいただいているところですので、状況を見ながら、香南市にも少しでも足を運んでいただけるように、商談会に足を運ぼうと考えています。

もう 1 つ、私から県の方に要望を出していることがあります。

教育旅行に限らず、旅行の商談というのは、現地に行かないと商談ができないというような状況が続いています。

先ほどリモートのお話もありましたが、やはり、システムの構築には費用も時間もかかりますが、本日のように ZOOM を活用した商談や交渉を行いながら 2 年後、3 年後に向けた教育旅行の誘致を行いたいという要望を出していますので、何か月後かに県より返答をいただけたらと思っています。

このことについては、強く要望を出しているところですので、お気づきの点があれば、是非ご指導をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

**(赤池委員長)**

ありがとうございました。その他はいかがでしょう。よろしいでしょうか。

では、令和 3 年度の取り組みについて皆様にご確認をいただきました。

以上で、本日の 2 つの議事について終了させていただきます。

1 つ目の議事では、令和 2 年度の実績報告を皆様にご確認いただきました。

上方修正を行うものや数値に誤りがあったもの、さらに、据え置きさせていただいたものがありますので、特に商業

部会からは次回の会でどのような協議を行い、その結果どうなったかについてご報告をいただければと思います。

2 つ目の議事では、令和 3 年度の現状と新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについてご確認をいただきましたが、最後に何かご意見などはございますでしょうか。

無いようでしたら、事務局にマイクをお替えいたします。

#### **(事務局)**

赤池委員長をはじめ、委員の皆さまには長時間にわたりご議論をいただきありがとうございました。

本日頂きましたご意見は、各部会におろすとともに、関係いたします他の計画とも共有し、今後活かしていきたいと考えています。

最後に「スケジュールのご説明」をさせていただきます。資料 6 をご覧ください。

昨年度は開催を見送りました合同部会や講演会につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら行えるようであれば実施に向けて調整を図りたいと考えています。

また、次回の策定委員会でございますが、こちらにつきましては、令和 4 年 1 月末頃に、「令和 3 年度 第 2 回策定委員会」ということで、令和 3 年度の進捗状況や令和 4 年度に向けた(案)をお示ししたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催日程などについては変更の可能性もございますがご了承ください。それでは、閉会にあたりまして、副市長、よろしく申し上げます。

#### **(副市長)**

皆様、長時間ありがとうございました。

本日は、令和 2 年度の総括というところで、事務局からの説明が長くなった部分があり申し訳ございませんでした。また、ご意見をいただく時間が短くなってしまい申し訳ございませんでした。

ただし、令和 3 年度の事業を進めながらも各課においては来年度の施策をどうやっていくのか、どう考えていくのかについて、考え始めている時期でございます。

この会だけではなく「来年度はこうやったらどうか」や「こういった事に困っている」など、様々なことを皆様方から各課、また各職員に情報提供をいただけますと非常にありがたいと思っています。

また、今後とも皆様方からのお知恵をお借りしながら、より良い地域を作っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

以上。